

【設計者向け】

# ナンバーキャッチシステム 導入マニュアル

2025. 9.26 1.0版

パナソニック コネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー  
映像メディアサービス本部  
プロダクト推進部

**Panasonic**  
**CONNECT**

本資料は、i-PRO AIカメラを使用したナンバー認識システム“**NumberCATCH II**”のシステム導入にあたって、お客様要望の要求仕様に基づいてシステム構成、アラーム動作、外部機器連携などの**設計作業の参考となる情報**を記載したものです。

## ■ 作業にあたり入手する資料

営業担当より以下の資料を入手して設計してください。

- ① ナンバーキャッチ\_要求仕様書
- ② システムデザインツール プロジェクトファイル

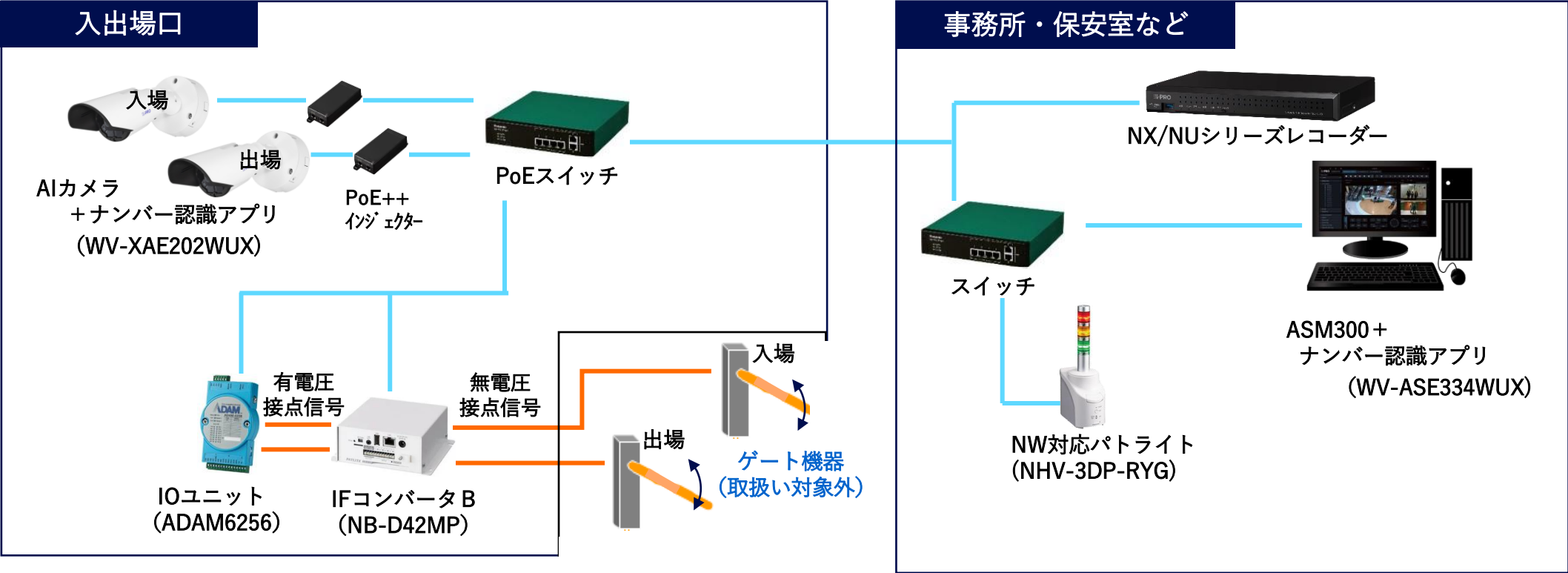
## ■ 次のステップへの引継ぎ

設計ができましたら以下を作成し、次のステップのキitting担当者に「**ナンバーキャッチ\_要求仕様書**」と一緒に引き継いでください。

- ① ナンバーキャッチ\_設計書                      ・ ・ ・ 別途テンプレート資料あり

# 1. システム構成と外部機器連携 設計例

システム構成【パターン1】 出入口1か所のみ（将来的に増設がない場合）



IOユニットの接点出力が無電圧ではないこと、また事務所側のパトライトの制御も考慮してこの構成を推奨しています。

機器	用途
カメラ + アプリ	・ WV-X15301-Z1LN ・ WV-XAE202WUX
IFコンバーターB	・ 入退場ゲート等との連動用 ・ パトライトの制御用
IOユニット（接点LANコンバータ）	・ ASE334からのアラーム発報を外部機器と連動
PoE++インジェクター	・ カメラへの電源供給

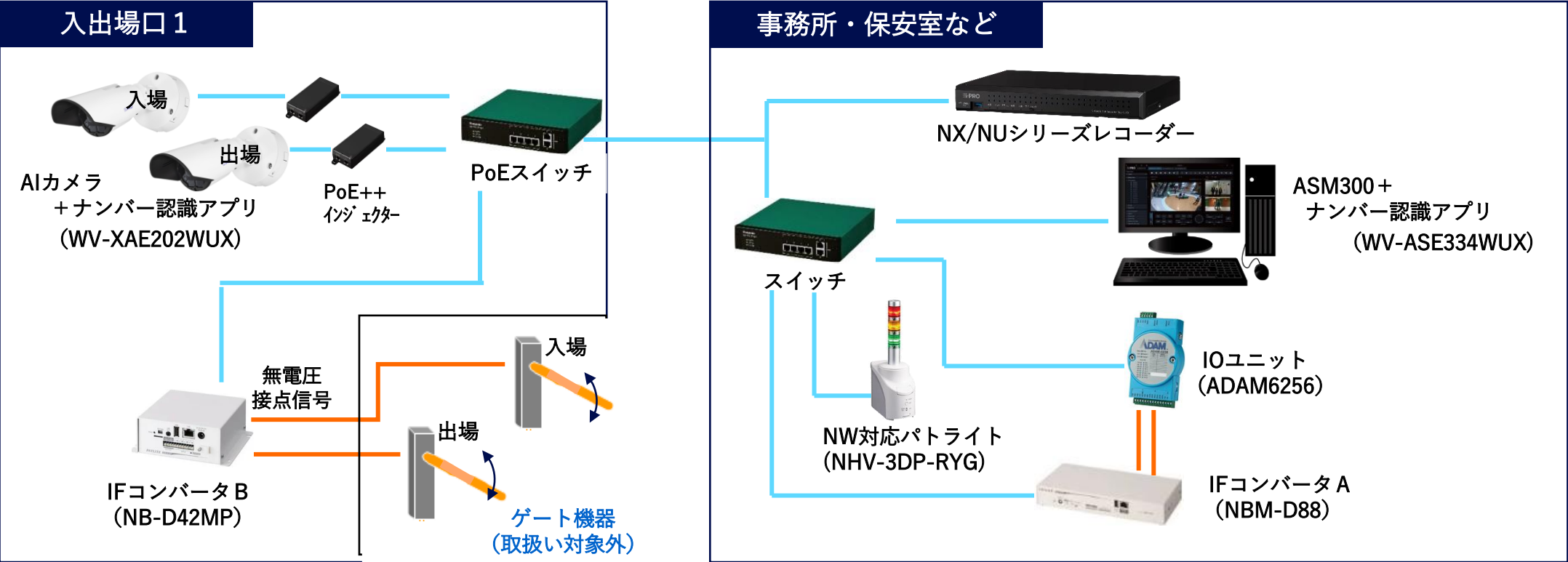
機器	用途
レコーダー	・ 監視映像の保存 ・ ナンバー認識ログの保存
・ 照合用PC ・ 管理ソフトウェア	・ WV-ASM300UX ・ WV-ASE334WUX
パトライト	・ ナンバー情報の登録 ・ ナンバー照合 ・ ナンバー読み取り履歴保存 ・ 入退場発報を監視室にお知らせ

アラーム/外部機器連動 設計シート【パターン1】 (出入口1か所のためのプラン)

外部機器との連携を実現するためのIOユニット、IFコンバーターの設計プランシート（各機器の設定と紐づけ）と例です。

ASE334 アラームルール				<設定>		IOユニットADAM 接点出力			<配線>		ゲート側 IFコンバーター NB-D42MP						
例：照合	1	登録車両 正門入	●	●	CH 0	登録車両 正門入	600ms	●	DI 1	ON	●	●	1	パトライト緑点灯10秒	192.168.0.160	alert=991999&restore=10	
	2	登録車両 正門出	●	●	CH 1	登録車両 正門出	600ms	●		OFF	●		2	パトライト赤点滅10秒	192.168.0.160	alert=299999&restore=10	
	3	未登録車両	●	●	CH 2	未登録車両	600ms	●		ON	●		3	パトライト音声 1	192.168.0.160	sound=1	
例：滞留	4	滞留 8 時間	●	●	CH 3	滞留 8 時間	600ms	●	DI 2	OFF	●	●	4	パトライト音声 2	192.168.0.160	sound=2	
照合	1				CH 0				DI 3	ON	●	●	5	パトライト音声 3	192.168.0.160	sound=3	
	2				CH 1				OFF		●	●	6				
	3				CH 2				ON	●	●	●	7				
	4				CH 3				OFF		●	●	8				
	5				CH 4				ON	●	●	●					
	6				CH 5				OFF		●	●					
	7				CH 6				ON	●	●	●	1				
	8				CH 7				OFF		●	●	2				
	9				CH 8				ON	●	●	●	3				
	10				CH 9				OFF		●	●	4				
滞留	1				CH 10				DI 1	ON			5				
	2				CH 11				OFF				6				
	3				CH 12				ON	●	●	●	7				
	4				CH 13				OFF		●	●	8				
	5				CH 14				ON	●	●	●	接点出力				
	6				CH 15				OFF		●	●	DO 1	正門入ゲート	自動OFF 5 秒	接点出力設定	
	7										●	●	DO 2	正門出ゲート	自動OFF 5 秒	接点出力設定	
	8												DO1				
	9												DO2				
	10																

システム構成【パターン2】 出入口複数箇所に対応（将来的に増設を見込んだ場合）



IOユニットはシステム全体で1台しか使用できないことよりこの構成を推奨しています。

機器		用途
カメラ + アプリ	・ WV-X15301-Z1LN ・ WV-XAE202WUX	・ ナンバープレート認識用
IFコンバーターB		・ 入退場ゲート等との連動用
PoE++インジェクター		・ カメラへの電源供給

機器		用途
レコーダー		・ 監視映像の保存 ・ ナンバー認識ログの保存
・ 照合用PC ・ 管理ソフトウェア	・ WV-ASM300UX ・ WV-ASE334WUX	・ ナンバー情報の登録 ・ ナンバー照合 ・ ナンバー読み取り履歴保存
パトライト		・ 入退場発報を監視室にお知らせ
IOユニット（接点LANコンバーター）		・ ASE334からのアラーム発報の出力
IFコンバーターA		・ パトライトや各出入口の機器制御

アラーム/外部機器連動 設計シート【パターン2】 (将来のゲート増設を見込んだプラン)

外部機器との連携を実現するためのIOユニット、IFコンバーターの設計プランシート（各機器の設定と紐づけ）と例です。

ASE334 アラームルール				<設定>		IOユニットADAM 接点出力		<配線>		事務所側 IFコンバーター NBM-D88						
例：照合	1	登録車両 正門入	●	●	CH 0	登録車両 正門入	600ms	●	DI 1	ON	●	●	1	正門入ゲート開 5 秒	192.168.0.180	alert 19 5
	2	登録車両 正門出	●	●	CH 1	登録車両 正門出	600ms	●		OFF	●	●	2	正門出ゲート開 5 秒	192.168.0.180	alert 91 5
	3	未登録車両	●	●	CH 2	未登録車両	600ms	●		ON	●	●	3	パトライト緑点灯10秒	192.168.0.160	alert 991999 10
例：滞留	4	滞留 8 時間	●	●	CH 3	滞留 8 時間	600ms	●	DI 2	OFF	●	●	4	パトライト赤点滅10秒	192.168.0.160	alert 299999 10
照合	1				CH 0				DI 3	ON	●	●	5	パトライト音声 1	192.168.0.160	sound 1
	2				CH 1				OFF	●	●	6	パトライト音声 2	192.168.0.160	sound 2	
	3				CH 2				ON	●	●	7	パトライト音声 3	192.168.0.160	sound 3	
	4				CH 3				OFF			8				
	5				CH 4				DI 1	ON		1				
	6				CH 5				OFF			2				
	7				CH 6				DI 2	ON		3				
	8				CH 7				OFF			4				
	9				CH 8				ON			5				
	10				CH 9				OFF			6				
滞留	1				CH 10				DI 3	ON		7				
	2				CH 11				OFF		8					
	3				CH 12				DI 4	ON		接点出力				
	4				CH 13				OFF		DO 1					
	5				CH 14				DI 5	ON		DO 2				
	6				CH 15				OFF		DO 3					
	7								DI 6	ON		DO 4				
	8								OFF		DO 5					
	9								DI 7	ON						
	10								OFF							

※IFコンバーターの仕様としては、接点入力、接点出力ともに最大8ポート。

## 2. 各種スペック等



# スペック：WV-X15301-Z1LN & ナンバー認識アプリケーション

項目	ナンバー認識アプリケーション（WV-XAE202WUX）
対象車両	四輪車※（大型自動車、普通自動車、軽自動車） ※二輪車や特殊車両（外交官車両、自衛隊車両、仮ナンバー、等）は対象外
新ナンバー（絵柄、英字）	対応（2020年5月発行分、 <b>2025年に予定されている新ナンバーについてはバージョンアップで無償対応予定</b> ）
字光式プレート対応	日中は認識可能。夜間（発光時）は認識できない場合もあります。
対応照度	前方ナンバー、後方ナンバーのどちらかを撮影対象にする場合：40Lux以上 前方ナンバー、後方ナンバーの両方を撮影対象にする場合：200Lux以上
撮影幅 ※1	（推奨）3.6m以内、（環境により）5.3m以内
認識可能距離 ※2	（推奨）5～30m、（環境により）2～30m
認識可能角度	俯角（推奨）：30° 以内 振り角（推奨）：±30° 以内、（環境により）±35° 以内
認識可能プレート幅	（推奨）160pixel以上、（環境により）120pixel以上
車速 ※3	（推奨）60km/h以下
ナンバー情報送信	ナンバーデータ（テキスト）、静止画（JPEG）を最大4宛先まで送信可能（HTTP）
カメラ1台での入出庫検知	対応（自動判定機能有）



- ※1： カメラとナンバープレートの距離により撮影幅は変動します。  
 ※2： WV-X15301-Z1LN / WV-S15301-Z1LN の場合  
 ※3： 高パフォーマンスモード使用時

# スペック：ASM300 ナンバー認識用機能拡張ソフトウェア

項目	ナンバー認識用機能拡張ソフトウェア（WV-ASE334WUX）
ナンバー認識用カメラ接続台数 ※1	16台
照合用登録ナンバー情報数	25,000件 × 10リスト
照合ルール数 ※2	最大 10件
ナンバー照合履歴保持数 ※3	800,000件 / 最大 120日
I/O制御機器接続可能台数	入力、出力 各1台



- ※1： ASM300の機器登録台数に含みます。
- ※2： 照合ルール数等、上限値使用時は、PCスペックやASM300の運用条件によっては映像の遅延・カクツキ等が発生する場合があります。  
必ず事前に運用条件にそった動作確認を行ってください。
- ※3： 全景画像は最大5,000件となります。

項目	NHV4-3DP-RYG / NHV4-3D-RYG	備考
段数	3段	
点灯色	赤 / 黄 / 緑	品番を変更すれば必要な色のみの商品を選択可能
定格電圧	DC48V(PoE + 使用時)、DC24V(ACアダプタ使用時)	NHV4- 3 DP-RYGは、PoE+対応 ※ACアダプタ別売り
音声対応	任意のテキストのスピーチ & 音声データ作成対応 登録可能音声データ：最大60チャンネル	MP3データ
音圧レベル	88dB以上 ※MP3データや環境によって変化します	
外部接点入力	無電圧接点、NPNトランジスタ ×4点	
外部接点出力	無電圧接点 リレー ×2点	
対応通信コマンド	RSH(受信)、HTTPコマンド(受信/送信)、SOCKET通信(受信)	
メール送信	SMTP (POP,SMTP認証対応)	最大8宛先、題名・本文ともに編集登録可能 ※各16



項目	【事務所側】 NBM-D88N 	【入場口側】 NB-D42MP 
定格電圧	DC24V（ACアダプタ使用）	DC24V(ACアダプタ使用) または PoE
使用温度範囲	0～40℃	-10～50℃
外部接点 “入力”	無電圧接点、NPNトランジスタ ×8点	無電圧接点、NPNトランジスタ ×4点
外部接点 “出力”	無電圧接点 リレー ×8点	無電圧接点 リレー ×2点
対応通信コマンド	RSH(送受信)、HTTPコマンド(受信)、SOCKET通信(送受信)	RSH(送受信)、HTTPコマンド(送受信)、SOCKET通信(送受信)
音声対応	なし	任意のテキストのスピーチ & 音声データ作成対応 ※最大60チャンネル
メール送信	SMTP（POP,SMTP認証対応）・・・ 最大8宛先 件名・本文ともに編集登録可能 ※各16	

### 3. ASE334 ナンバー認識アプリ ナンバー照合設定

# アラーム出力時に外部機器と連動させるためのI/Oユニットの設定

- ・ I/Oユニットから接点信号を出力して外部機器を制御。最大16出力。
- ・ アラーム動作と1対1でIFコンバーターへ接点出力し、IFコンバーター側で機器制御する形を推奨。

① ナンバーキャッチ設定画面の「I/Oユニット設定」タブをクリック。  
以下、出力側について設定を行います。

② 使用するI/Oユニットの品番を以下より選択。

- ・ ADAM-6250：出力7系統（CH0～CH6）
- ・ ADAM-6256：出力16系統（CH0～CH15）

③ IOユニットのIPアドレスを設定

④ ポート番号を設定 → “502” にする

⑤ 各CHの端子名（動作や用途）を入力。

⑥ 出力時の接点信号のオン時間を選択。

⑦ 最後に「設定保存」をクリック

CH	モード	端子名
0	L→H	
1	L→H	
2	L→H	
3	L→H	
4	L→H	
5	L→H	
6	L→H	
7	L→H	
8	L→H	

CH	端子名	時間設定
0	パトライト：緑	5秒
1	パトライト：赤	60秒
2	ゲート：OPEN	600ミリ秒
3	ゲート：CLOSE	600ミリ秒
4	出力端子4	5秒
5	出力端子5	5秒
6	出力端子6	300ミリ秒
7	出力端子8	5秒
8	出力端子9	5秒

【注意事項：IOユニット（ADM-6250/6256）の出荷時の接点出力動作】

パルス出力でノーマルオープン（NO）です。変更はIOユニット側で行う必要があります。

# ナンバー照合の対象となるナンバー情報の登録

※登録方法：「手動」「CSV入力」「認識情報やアラーム情報のリストから登録」

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「登録ナンバーリスト設定」タブをクリック。  
初期状態では「登録ナンバーなし」(空のリスト)が登録されています。  
※リストは最大10件まで
- ② 初回登録時は「登録ナンバーなし」を選択。  
新リストを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ 登録ナンバーリスト名を入力。 ※最大16文字

### ▶手動で1件ずつ登録する場合

- ④ 「登録ナンバーの追加」をクリック。
- ⑤ 登録する車両のナンバー情報の「陸事」「車種」「用途」「一連番号」を入力。
- ⑥ 照合動作に有効期限を設ける場合は「有効期限」とする日時を入力。
- ⑦ 登録する車両についての関連情報等も登録する場合は、「付帯情報」を入力。  
※最大4項目、各最大12文字
- ⑧ 登録する車両についての画像も登録する場合は、  
「参照」をクリックし、登録する画像ファイルを選択。  
※画像形式は、jpg, png, bmp サイズは、127KB以下
- ⑨ 続けて登録する場合は④～⑧を繰り返し、最後に「設定保存」をクリック。

#### 【注意事項】

- ・ナンバーの登録は、最大10リスト、1リストあたり最大25,000件までできます。
- ・画像を登録できるナンバーは最大5,000件までです。
- ・「陸事」のみ入力したナンバーリストを作成すれば、「陸事」単位での照合も可能です。
- ・付帯情報や画像に個人情報を登録した場合、お客様において法令が求める対応が必要となります。

## 3-2 登録ナンバーリスト設定 (2/2)

### ▶CSVファイルで一括登録する場合

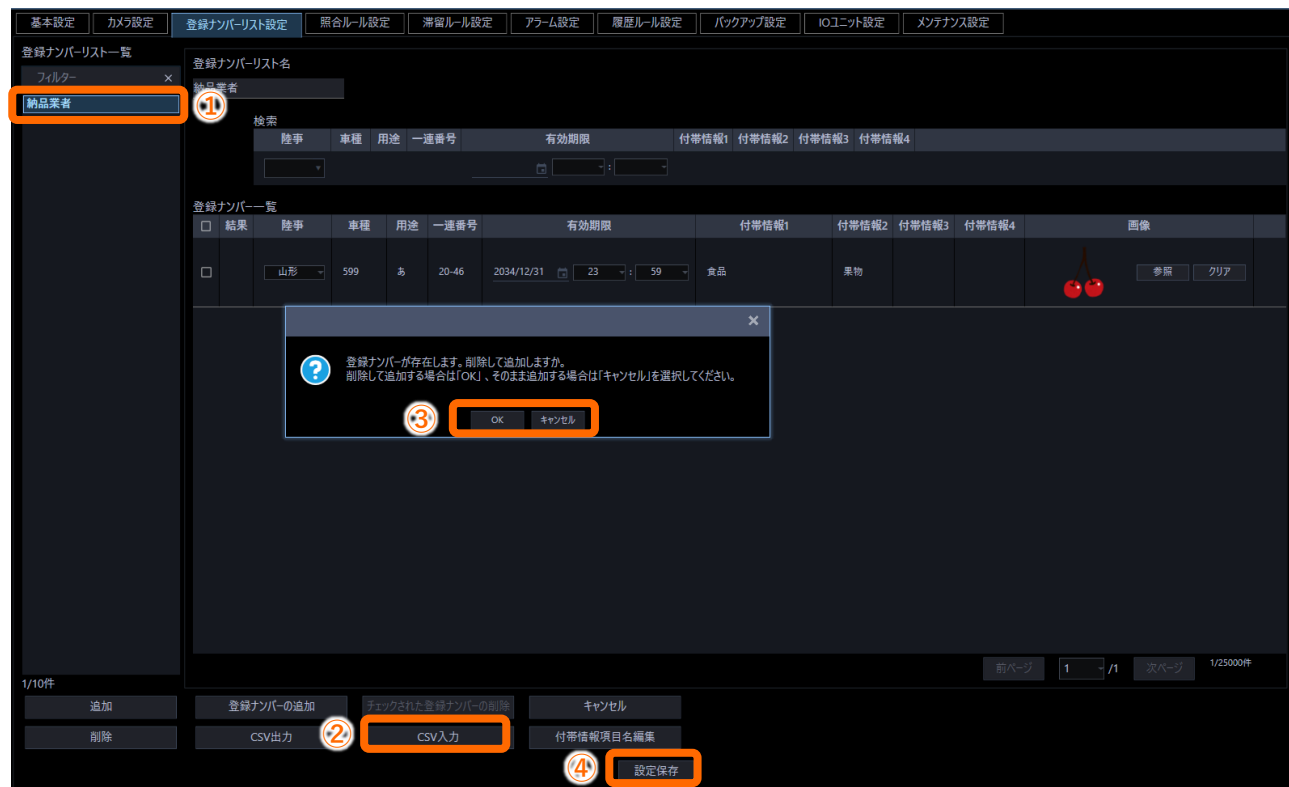
- ① 登録先の登録ナンバーリストを選択。  
新規リストとする場合は「追加」をクリック。
- ② 「CSV入力」をクリック。
- ③ リストに登録ナンバーが存在する場合は、  
現在の情報に上書き(現内容は削除)するか追加するかを選択。  

上書きの場合：「OK」をクリック  
追加の場合：「キャンセル」をクリック

**要注意**
- ④ 別のファイルからも追加登録する場合は②～③を繰り返し  
最後に「設定保存」をクリック。

### ▶認識情報やアラームリストから登録する場合

別ページの「ナンバー認識情報表示・検索」や  
「アラームリスト表示・検索」の項目を参照



### ■ CSV入力例 ※画像はCSV入力の対象外です。

		有効期限	①陸事	②車種	③用途	④一連番号	付帯情報1	付帯情報2	付帯情報3	付帯情報4
空欄	空欄	2034/12/31 23:59	多摩	500	あ	2020	XXX	XXX	XXX	XXX

※ 入力時の注意事項：

- 有効期限空欄でCSV入力すると … デフォルト値「2034/12/31 23:59」で自動登録
- 全角/半角の区別について … ②車種：全角でも半角でも可 ④一連番号：全角でも半角でも可 有効期限：全角入力するとデフォルト値が反映 付帯情報：全角半角混在でも可





## 照合に使用するカメラや照合方法・照合対象の設定

10ルール以下になるように設計する必要あり

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「照合ルール設定」タブをクリック。  
初期状態では「照合ルールなし」(空のルール)が登録されています。  
※ルールは最大10件まで

- ② 初回登録時は「照合ルールなし」のルールを選択。  
新たなルールを追加する場合は「追加」をクリック。

- ③ 照合ルール名を入力。 ※最大16文字

- ④ 照合対象となるカメラをチェック。

- ⑤ 照合対象となる登録ナンバーリストをチェック。

- ⑥ 照合方法を「一致」か「不一致」かを選択。

- ⑦ 照合対象とするナンバー情報の項目をチェック。  
「陸事」「車種」「用途」「一連番号」

- ⑧ 照合対象とする入出区分をチェック。「入」「出」「指定なし」

- ⑨ 最後に「設定保存」をクリック。

- ・ 照合ルールは最大10ルールまで作成できます。
- ・ 未登録車両に対してアラーム動作を行うには、未登録車両用のルールを以下のように作成します。

⑤ 照合対象となる登録ナンバーリスト → 全てチェック

⑥ 照合方法

→ 不一致

# ナンバー照合時のアラーム動作の設定

IOユニットの端子出力はアラーム動作と1対1で出力する形を推奨

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「アラーム設定」タブをクリック。  
初期状態は「アラームなし」（空のアラーム）が登録されています。  
※動作は最大100件まで
- ② 初回登録時は「アラームなし」のアラームを選択。  
新たなアラームを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ アラーム名を入力。 ※最大16文字
- ④ アラームタイプは「照合」を選択。
- ⑤ 対象とする照合ルールを選択。
- ⑥ アラーム時にポップアップ画面表示する場合：  
「メッセージ」にチェック ⇒ 「編集」をクリックし、表示メッセージを入力。  
⇒ 「付帯情報」や「画像」も表示する場合はチェック。  
※最大50文字
- ⑦ アラーム時にPCから音を鳴らす場合は「ブザー鳴動」にチェック。
- ⑧ アラーム時に映像表示する場合※  
「映像」にチェック ⇒ 「ライブ」か「再生」かを選択 ⇒ 表示するカメラを選択
- ⑨ アラーム時に外部機器と連動させる場合：  
「端子出力」にチェックし、IOユニットの出力端子を選択。
- ⑩ 最後に「設定保存」をクリック。

・アラーム動作のリストはナンバー照合と滞留検知をあわせて最大100件まで作成できます。  
※アラーム時の映像表示は初期状態では操作モニターに表示されます。  
ライブ表示は、メンテナンス設定＞アラームアクション ライブ／再生先でライブモニターに変更可能。

## 4. ASE334 ナンバー認識アプリ 滞留検知設定

### 滞留検知に使用するカメラの登録

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「滞留ルール設定」タブをクリック。  
初期状態では「滞留ルールなし」(空のルール)が登録されています。  
※ルールは最大10件まで
- ② 初回登録時は「滞留ルールなし」のルールを選択。  
新たなルールを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ 滞留ルール名を入力 ※最大16文字
- ④ 入場とするカメラ (=滞留時間の計測開始カメラ) をチェック。
- ⑤ 出場とするカメラ (=滞留時間の計測終了カメラ) をチェック。
- ⑥ 対象車両を限定する場合は、  
陸事 / 車種 / 用途 / 一連番号 の指定項目を入力し、  
比較方法 (完全一致 / 部分一致) を選択。  
※「部分一致」選択時はワイルドカードとして“?”も使用可能  
例) 車種に “1??” 入力  
⇒ 普通貨物車(大型・中型トラック)が該当
- ⑦ 最後に「設定保存」をクリック。



- ・ 滞留ルールは最大10ルールまで作成できます。
- ・ 入場と出場の判定はカメラ側 (ナンバー認識アプリケーション WV-XAE202WUX)で行っています。  
1台で入場と出場の両方のナンバー認識を行うカメラについては (=入出判定が“自動”)、  
車両の上下動等で入場と出場の両方で認識される可能性があるため、滞留検知への使用は避けてください。

### 滞留検知時のアラーム動作の設定

IOユニットの端子出力はアラーム動作と1対1で出力する形を推奨

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「アラーム設定」タブをクリック。  
初期状態では「アラームなし」（空のアラーム）が登録されています。  
※動作は最大100件まで
- ② 初回登録時は「アラームなし」のアラームを選択。  
新たなアラームを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ アラーム名を入力。 ※最大16文字
- ④ アラームタイプは「滞留」を選択。
- ⑤ アラームとする滞留時間(入場時からの経過時間)を入力。 ※最大23時間59分
- ⑥ 対象とする滞留ルールを選択。
- ⑦ アラーム時にポップアップ画面を表示する場合：  
「メッセージ」にチェック  
⇒「編集」をクリックし、表示メッセージを入力（最大50文字）
- ⑧ アラーム時にPCから音を鳴らす場合は「ブザー鳴動」にチェック
- ⑨ アラーム時に映像表示する場合※  
「映像」にチェック ⇒ 「ライブ」か「再生」かを選択 ⇒ 表示するカメラを選択
- ⑩ アラーム時に外部機器と連動させる場合は  
「端子出力」にチェックし、IOユニットの出力端子を選択
- ⑪ 最後に「設定保存」をクリック。

The screenshot displays the 'Alarm Settings' (アラーム設定) tab in the Panasonic Connect interface. The left sidebar shows a list of alarms, with 'In-vehicle滞留' (構内滞留) selected. The main area shows the configuration for this alarm. The 'Alarm Name' (アラーム名) is 'In-vehicle滞留: 12時間' (構内滞留: 12時間). The 'Type' (タイプ) is '滞留' (滞留). The 'Duration' (滞留時間) is set to 12 hours and 00 minutes. The 'Rule' (滞留ルール) is 'In-vehicle滞留' (構内滞留). The 'Message' (メッセージ) checkbox is checked, and the 'Buzzer' (ブザー鳴動) checkbox is also checked. The 'Video' (映像) checkbox is checked, and the 'Live' (ライブ) option is selected. The 'Terminal Output' (端子出力) section shows various output terminals, with 'Buzzer' (ブザー) and 'Gate' (ゲート) options checked. The 'Save Settings' (設定保存) button is at the bottom right.

- ・ 24時間以上の滞留に対してのアラーム動作設定はできません。（滞留検索での検索は可能です）
  - ・ 滞留検知は、ナンバー情報の全項目（陸事・車種・用途・一連番号）一致で判定しています。  
同一車両でも外部要因等で入出場時の認識結果が異なった場合は、正しく動作しない可能性があります。
  - ・ アラーム動作のリストはナンバー照合と滞留検知をあわせて最大100件まで作成できます。
- ※アラーム時の映像表示は初期状態では操作モニターに表示されます。
- ライブ表示は、メンテナンス設定＞アラームアクション ライブ／再生先でライブモニターに変更可能。

## 5. 外部機器制御 全般

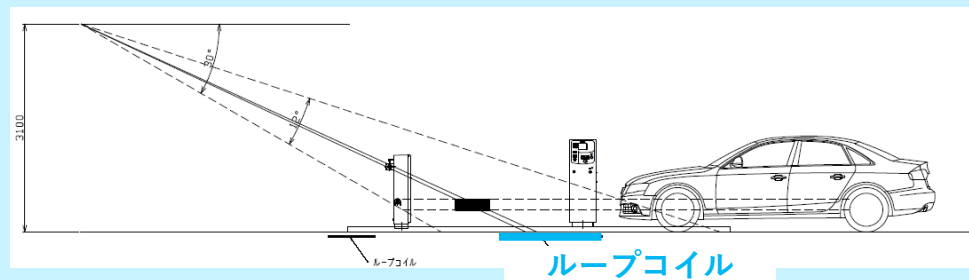
# ゲート機器との連携時 ナンバー認識アプリの設定変更が必要になる場合あり

※カメラの初期設定では、同一車両のナンバー認識情報は1回しか送信しない

### 【連携方法 1】 ナンバー認識情報を繰返し送出する

#### ① 最初のナンバー情報送信

この状態でナンバーを読み取り、登録車両であった場合に照合アラームでIOユニットやIFコンバーターから接点信号を出しても、  
車両がまだループコイルの位置まで到達していないため、ゲートは開かない。

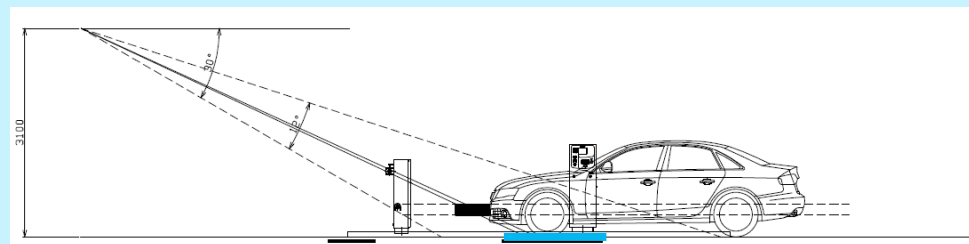


#### ② 2度目のナンバー情報送信

車両がループコイルの位置に達した状態で、  
IOユニットやIFコンバーターから再度接点信号を出すとゲートは開く。



現場環境に応じて同一車両のナンバー情報の送信間隔を調整する。



#### ■ 同一車両のナンバー情報送信間隔の設定方法（【商品説明資料】ナンバーキャッチシステム ①カメラ編 を参照）

WV-XAE202Wの詳細設定：「同一車両の送信間隔」を“1秒”に設定してください。

※1秒以外にする場合は、PCのブラウザから下記CGIコマンドで設定してください。



[http://\(カメラIPアドレス\)/cgibin/adam.cgi?methodName=setApplicationPreference&appName=NumCatchApp&prefType=Integer&prefName=lpr\\_bs\\_stop\\_interval&value=3](http://(カメラIPアドレス)/cgibin/adam.cgi?methodName=setApplicationPreference&appName=NumCatchApp&prefType=Integer&prefName=lpr_bs_stop_interval&value=3)

※秒数を変更したい場合は、上記CGIの最後の "value=" の数値を秒数単位で設定してください。例) 3秒間隔で通知する場合：value=3

※WV-XAE202WのV1.10以降で有効

# IOユニットやIFコンバーターからの接点出力時間を調整して対応する方法もあり

## 【連携方法 2】 接点信号のオン時間を長くする

### ① 最初のナンバー情報送信

この状態でナンバーを読み取り、登録車両であった場合に照合アラームでIOユニットやIFコンバーターから接点信号を出す。

その際の接点信号のオン時間は、車両がループコイルに達するのに十分な時間  
(例：5秒) とする。

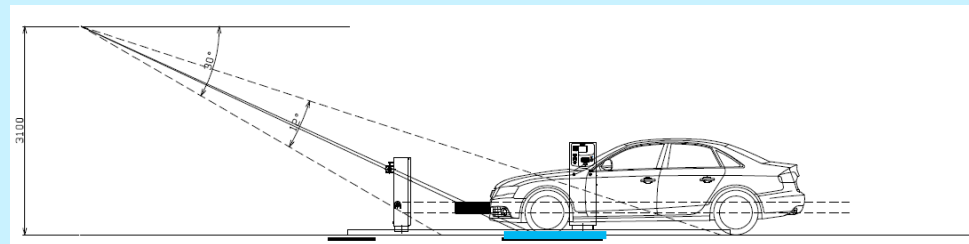
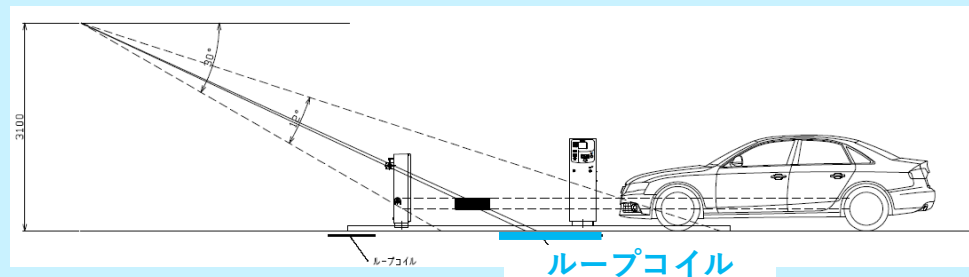


車両がループコイルの位置に達した状態で、  
ループコイルセンサーとのAND条件でゲートは開く。



現場環境に応じて同一車両のナンバー情報の送信間隔を調整する。

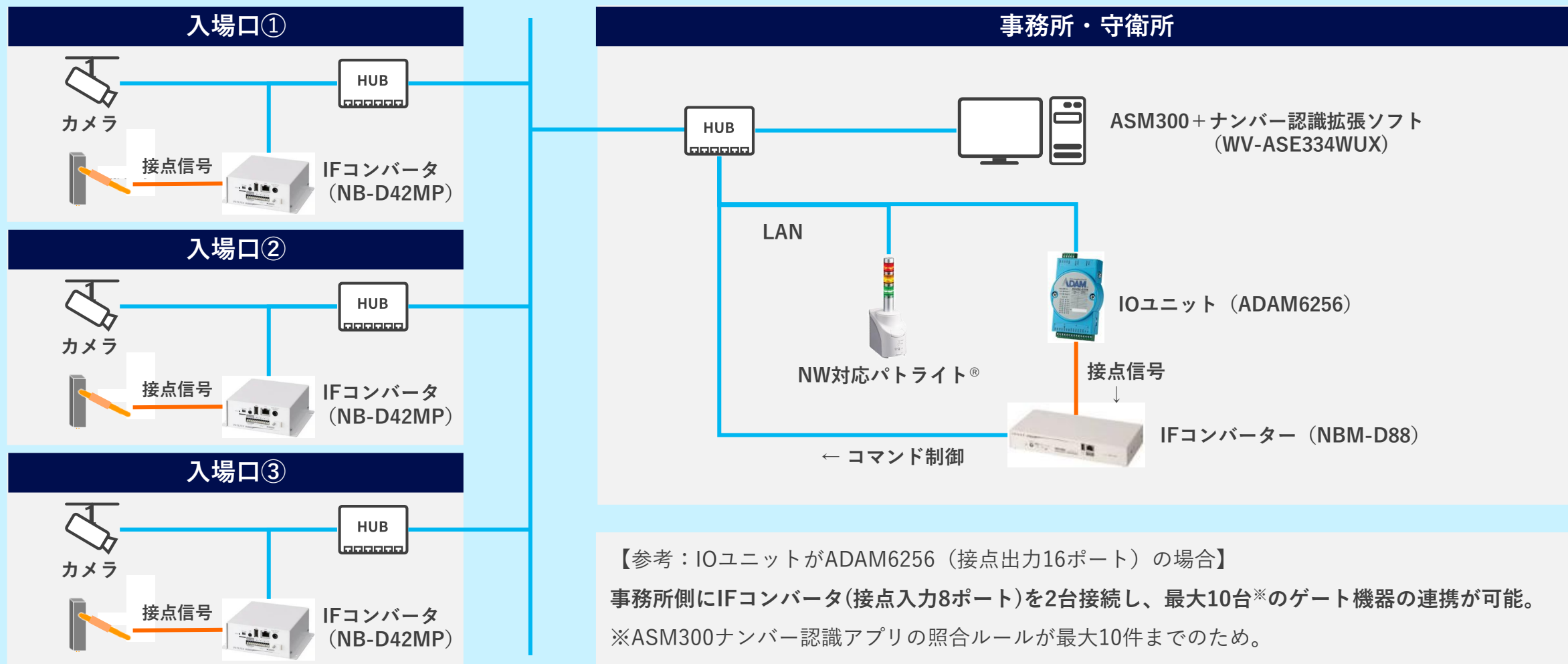
また、ループコイルの前で車両が停止した場合を想定し、  
カメラからナンバー情報は再送する設定も行っておく (例：10秒)





### ゲートが複数存在 かつ 離れている場合 パトライト社製機器の使用を推奨

※ASM300拡張ソフト(ASE334)に登録可能なIOユニットは1台のみのため



# IFコンバーターを使用して、離れた場所のパトライトやIFコンバーターのネットワーク経由での設定方法を次頁以降で説明します

### ■ システム例

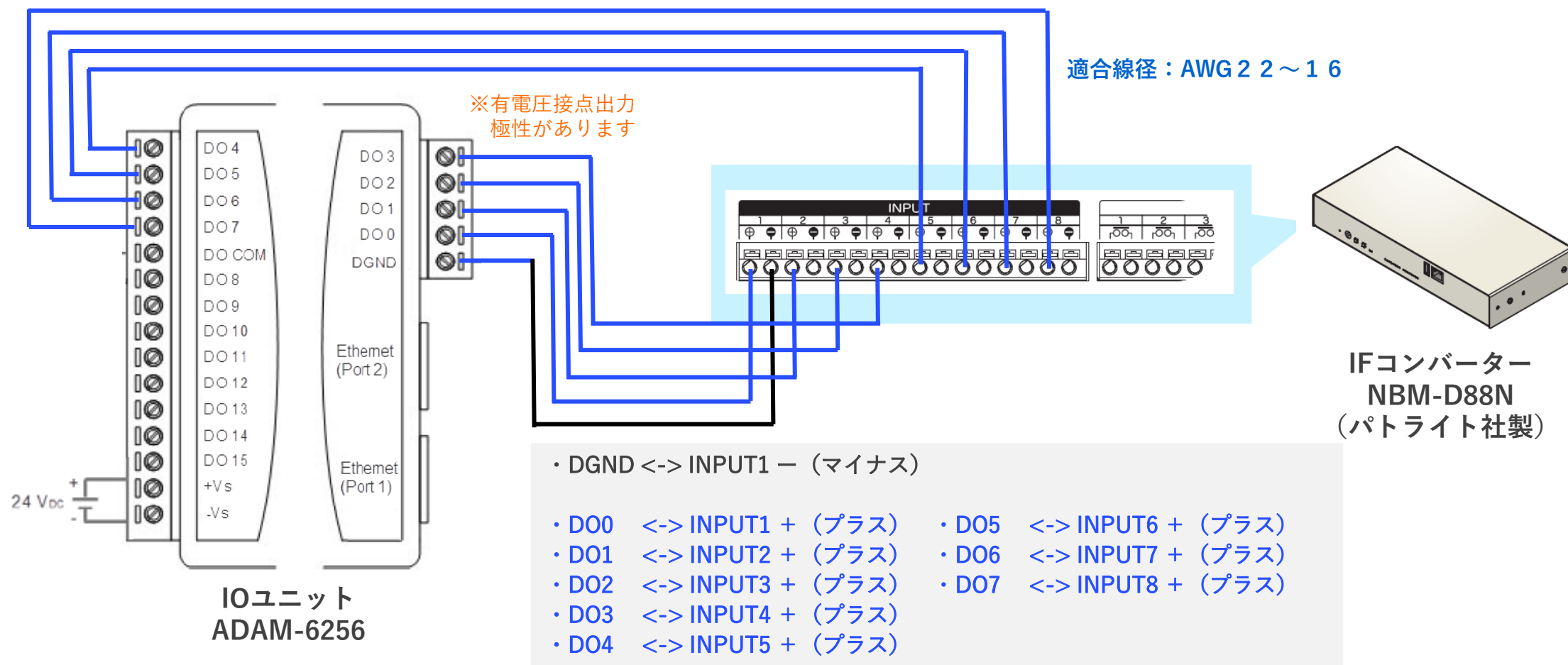


## 6. IFコンバーターA 事務所側 NBM-D88

システム構成【パターン2】で使用

IOユニット と IFコンバーター は、下記のように接続してください。

※IFコンバータの接点入力がNPNトランジスタに対応しているため、リレーを介さなくても動作可能です。





## 【事務所側 NBM-D88】 IPアドレスの設定

① PCのブラウザでIFコンバーターにアクセス

※出荷時のアドレス：192.168.10.1

② ログイン画面でパスワードを入力

※出荷時のパスワード：patlite

③ 「セットアップ項目」 > 「システム設定」を選択

④ IPアドレス設定方法を「手動で設定する」にし、  
IPアドレス情報を入力

⑤ 「設定」をクリック



⑥ 画面が切り替わったら、「ネットワークの再起動」をクリック

**PATLITE** Network Interface Converter FirmwareVersion 2.01

システム設定

機器名称	NBM-D88
設置場所	
連絡先	nbm@patlite.jp
ログホストアドレス	

IPアドレス設定方法 ☒ 手動で設定する ☐ 自動的に取得する

本体IPアドレス	192.168.0.211
ネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
DNSサーバアドレス	192.168.0.1
ホスト名	nbm.patlite.jp
ドメイン名	

HTTPコマンド制御機能 ☒ 有効 ☐ 無効

⑤ 設定



# 【事務所側 NBM-D88】 RSHコマンド送信設定

パトライトやゲート側のIFコンバーターを制御するコマンドを登録します。

① 「セットアップ項目」 > 「RSHコマンド送信設定」 を選択

② 名称を入力（動作がわかるもの。6文字以下推奨）

③ 制御するパトライト、IFコンバーターのIPアドレスを入力

④ 制御するパトライト、IFコンバーターの  
RSHコマンド受信設定の共通ログイン名を入力

⑤ 送信するRSHコマンドを入力（次ページも参照）

コマンド例)		
・パトライト	10秒間 緑点減	: alert 992990 10
・パトライト	接点出力1(DO1)をON	: alert do 19
・パトライト	接点出力1(DO1)をOFF	: alert do 09
・パトライト	音声1を再生	: sound 1
・IFコンバータ	接点出力1(DO1)を5秒間ON	: alert 19 5
・全動作OFF		: clear

⑥ 最後に「設定」をクリック

【注意事項】

- 登録できるRSHコマンドは最大8個までです。

セットアップ項目

システム設定

ユーザ認証設定

時刻設定

SNMP設定

メール送信設定

メール内容設定

RSHコマンド送信設定

RSHコマンド受信設定

ソケット送信設定

ソケット受信設定

動作設定項目

本体操作項目

保守機能項目

情報参照項目

ログアウト

Network Interface Converter

FirmwareVersion 2.01

RSHコマンド送信設定

番号	名称	送信先アドレス	アカウント
送信コマンド			
1	入ゲート開	192.168.0.180	patlite
	コマンド: alert 19 5		
2	出ゲート開	192.168.0.180	patlite
	コマンド: alert 91 5		
3	緑点灯10秒	192.168.0.160	patlite
	コマンド: alert 991999 10		
4	赤点減10秒	192.168.0.160	patlite
	コマンド: alert 299999 10		
5	声1登録車両	192.168.0.160	patlite
	コマンド: sound 1		
8			
	コマンド:		

設定

※ゲート機器と連携するIFコンバーターへのコマンドは最初の方に登録する  
(できるだけ遅延動作を避けるため)

RSHコマンド仕様

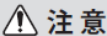
■ゲート側IFコンバーター NB-D42MP

＜接点出力＞

● alert コマンド

概要	デジタル出力 <do1><do2> を制御する
書式	alert <do1>[<do2><sec>] または、 alert <do1>[<do2><予約><予約><予約><予約><sec>]
返り値	<do1><do2>999999 (コマンド実行後のデジタル出力状態)

種 類	値
do1	デジタル出力 1 デジタル出力状態 0：OFF 1：ON
do2	デジタル出力 2 9：制御しない
予約領域	
sec	制御時間 0～99：制御時間 (秒)



注意

- ⚠ 外部接点出力設定で BUSY 出力に設定しているポートは制御できません。
- ⚠ BUSY 出力に設定されている場合は、実際の出力状態にかかわらず、デジタル出力状態が OFF になります。
- ⚠ ON、OFF の状態は、各ポートのデジタル論理値を示します。
- ⚠ do2 は省略することができますが、do1 を省略することはできません。
- ⚠ sec 省略時は、sec に「0」を指定した場合と同じになります。

ポイント

- [ ] は、オプションです。省略することができます。

■NW対応パトライト

＜信号灯点灯・ブザー鳴動＞

● alert コマンド

概要	信号灯 (rygbc) やブザー (bz) を制御する
書式	alert <r><y><g><b><c><bz> [<sec>]
返り値	<r><y><g><b><c><bz> (コマンド実行後の信号灯状態)

種 類	値
r	赤色ユニット 点灯パターン 0：消灯
y	黄色ユニット 1：点灯
g	緑色ユニット 2：点滅パターン 1 3：点滅パターン 2 4：点滅パターン 3 5：点滅パターン 4
b	青色ユニット
c	白色ユニット 9：制御しない
bz	ブザー ブザーパターン 0：非吹鳴 1：吹鳴パターン 1 2：吹鳴パターン 2 3：吹鳴パターン 3 4：吹鳴パターン 4 5：吹鳴パターン 5 9：制御しない
sec	制御時間 (秒) 0：制御時間を指定しない (省略できます) 1～99：制御時間を指定



注意

- ⚠ alert コマンド実行中に、alert コマンドを実行した場合、制御時間は上書きされます。ただし、RSH/SSH コマンド受信設定でタイマーリストアを個別に設定した場合は、個別で制御時間を指定することができます。

ポイント

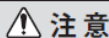
- [ ] は、オプションです。省略することができます。
- 設定した時間を過ぎた場合、alert コマンド実行直前の信号灯状態とチャンネル 61～64、71 (ブザーパターン 1～5) の動作に戻ります。
- 制御時間を省略した場合は、制御状態を継続します。

＜音声送出＞

● sound コマンド NHVシリーズ

概要	信号灯 (rygbc) や音声再生 (ch) を制御する
書式	sound [-r <repeat>] [-c <r><y><g><b><c>] <ch>
返り値	<ch> (コマンド実行後の音声再生チャンネル)

種 類	値
repeat	リピート回数 リピートする回数 0：ワンショット再生 (省略できます) 1～254：リピート回数 255：エンドレス再生
r	赤色ユニット 点灯パターン 0：消灯
y	黄色ユニット 1：点灯
g	緑色ユニット 2：点滅パターン 1 3：点滅パターン 2 4：点滅パターン 3 5：点滅パターン 4
b	青色ユニット
c	白色ユニット 9：制御しない
ch	音声チャンネル 音声再生チャンネル 1～71：音声チャンネル



注意

- ⚠ リピート回数を省略した場合は、ワンショット再生されます。
- ⚠ チャンネル 61～64 および 71 は、常に「後入力優先モード」で再生されます。

ポイント

- [ ] は、オプションです。省略することができます。



## 【事務所側 NBM-D88】デジタル入力（接点入力）設定

IOユニットからの接点入力ごとに、パトライトやゲート側IFコンバーターへの制御コマンドを選択します。

- ① 「動作設定項目」 > 「デジタル入力設定」を選択
- ② 接点入力ポートを選択する
- ③ 信号定義を「ON状態」にする
- ④ 送信するRSHコマンドを選択する
- ⑤ 最後に「設定」をクリック

**PATLITE** Network Interface Converter Firmware Version 2.01

### デジタル入力設定

② 1 2 3 4 5 6 7 8

デジタル入力 1	
有効/無効	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
論理値	<input checked="" type="radio"/> A接点 <input type="radio"/> B接点
信号定義	③ 状態

ON 状態時の動作設定 1				
デジタル出力	1. デジタル出力 1	変化なし		
	2. デジタル出力 2	変化なし		
	3. デジタル出力 3	変化なし		
	4. デジタル出力 4	変化なし		
	5. デジタル出力 5	変化なし		
	6. デジタル出力 6	変化なし		
	7. デジタル出力 7	変化なし		
	8. デジタル出力 8	変化なし		
RSH コマンド送信	<input checked="" type="checkbox"/> 1 線点減10秒	<input checked="" type="checkbox"/> 2 接点 1 ON	<input type="checkbox"/> 3 接点 1 OFF	<input type="checkbox"/> 4 IF接 1 ON
	<input type="checkbox"/> 5 IF接 1 OFF	<input type="checkbox"/> 6 未登録	<input type="checkbox"/> 7 未登録	<input type="checkbox"/> 8 未登録
	<input type="checkbox"/> 1 未登録	<input type="checkbox"/> 2 未登録	<input type="checkbox"/> 3 未登録	<input type="checkbox"/> 4 未登録
	<input type="checkbox"/> 5 未登録	<input type="checkbox"/> 6 未登録	<input type="checkbox"/> 7 未登録	<input type="checkbox"/> 8 未登録
ソケット送信	<input type="checkbox"/> 9 未登録	<input type="checkbox"/> 10 未登録	<input type="checkbox"/> 11 未登録	<input type="checkbox"/> 12 未登録
	<input type="checkbox"/> 13 未登録	<input type="checkbox"/> 14 未登録	<input type="checkbox"/> 15 未登録	<input type="checkbox"/> 16 未登録
	メール送信			
	メール送信先			
トラップ送信				

⑤ 設定



## 7. IFコンバーターB ゲート側 NB-D42MP

# 【ゲート側 NB-D42MP】 IPアドレスの設定



- ① PCのブラウザでIFコンバーターにアクセス

※出荷時のアドレス：192.168.10.1

- ② ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力

ユーザー名：patlite

パスワード：patlite

- ③ 「本体設定」 > 「ネットワーク設定」を選択

- ④ IPv4設定で「手動設定」にし、  
IPアドレス情報を入力

- ⑤ 「設定」をクリック

機体名称: Interface Converter, MAC アドレス: 80:39:e5:02:65:b1, Firmware Version: 2.00

本体設定 > ネットワーク設定

① ネットワーク設定

IPv4 設定方法: ☒ 手動設定 ☐ 自動設定

IPアドレス: 192.168.0.15 ②

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ:

デフォルトゲートウェイのない環境で、RSHコマンドを使用する場合は登録なし(空欄)

DNSサーバーアドレス 設定方法: ☒ 手動設定 ☐ 自動設定

DNSサーバーアドレス: 0.0.0.0

ホスト名



### 【ゲート側 NB-D42MP】各種機能の有効化

① 「本体設定」 > 「機能の有効化」 を選択

② 本体機能設定  
・ RSHコマンド受信機能  
・ HTTPコマンド制御  
を“有効”にする

③ 本体制御設定  
全項目を“有効”にする

④ 最後に「設定」をクリック

機体名称: Interface Converter, MAC アドレス: 80:39:e5:02:65:b1, Firmware Version: 2.00

本体設定 > 機能の有効化

① 機能の有効化

② 本体機能設定

機能	無効	有効
SSHコマンド受信機能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
RSHコマンド受信機能	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
HTTPコマンド制御	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ソケット通信設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
変化情報送信	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
LTE通信機能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メール定時送信機能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
定期再起動機能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

③ 本体制御設定

項目	無効	有効
接点入力 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 4	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点出力 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点出力 2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

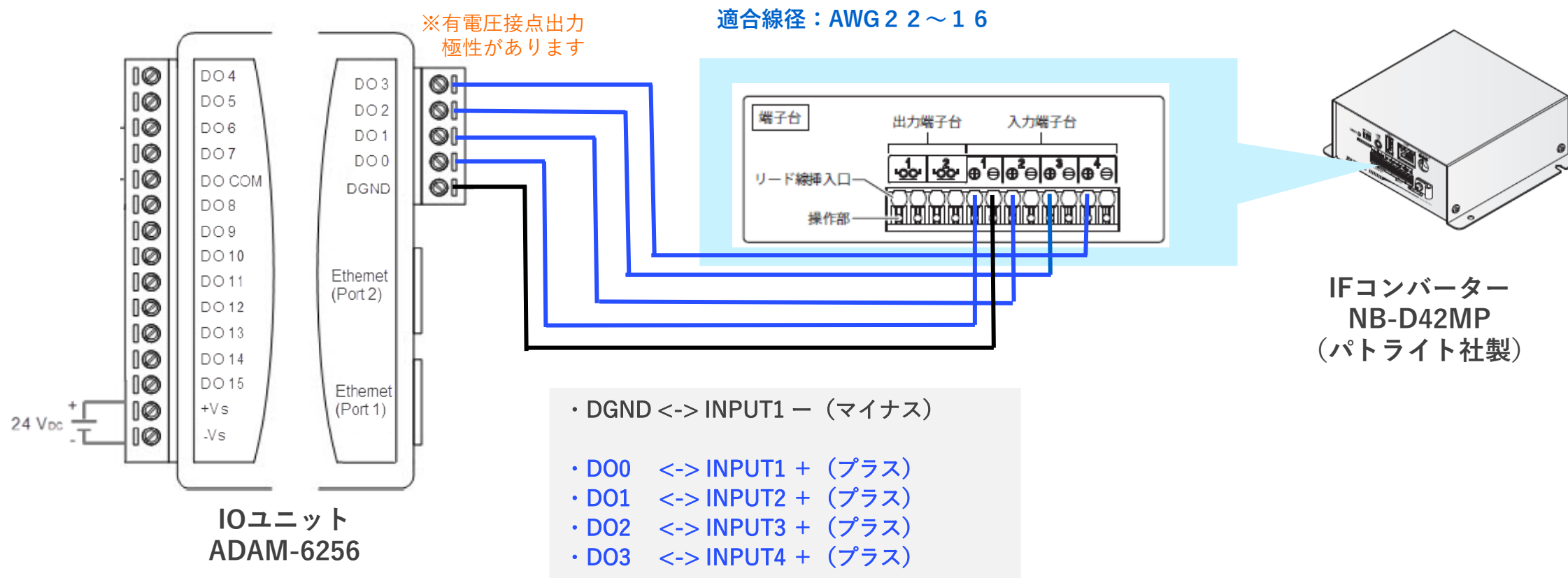
④ SNMP設定

項目	無効	有効
SNMPコマンド受信	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

キャンセル 設定

IOユニット と IFコンバーター は、下記のように接続してください。

※IFコンバータの接点入力がNPNトランジスタに対応しているため、リレーを介さなくても動作可能です。





## 【ゲート側 NB-D42MP】 HTTPコマンド送信設定

パトライトを制御するHTTPコマンドを登録します

① 「通知設定」 > 「HTTP通知設定」 > 「HTTPコマンド送信先」 を選択

② 名称を入力（動作内容がわかる名前）

② HTTPコマンドを入力

・ <http://アドレス/コマンド> の形で記載

③ タイムアウトはデフォルトのまま

④ パトライトの場合は ”認証なし”

⑤ 最後に「設定」をクリック

The screenshot shows the PATLITE web interface for configuring HTTP command transmission. The sidebar on the left contains navigation options, with 'HTTPコマンド送信先' (HTTP Command Transmission Destination) highlighted under the '通知設定' (Notification Settings) section. The main content area displays a table for adding commands. The table has columns for '名称' (Name), 'タイムアウト(1-10)秒' (Timeout (1-10) seconds), and 'HTTP認証' (HTTP Authentication). The '名称' column is highlighted with a red box and labeled 1. The 'タイムアウト' column is labeled 3. The 'HTTP認証' column is labeled 4. The 'コマンド' (Command) column is highlighted with a red box and labeled 2. The 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password) fields are labeled 7 and 8 respectively. The '設定' (Settings) button is labeled 5.

HTTPコマンド仕様 (パトライト NHVシリーズ)

リクエスト構文: http://<アドレス>/api/control?<パラメータ名>=<値>



パラメータ	値		内容
alert	<r><y><g><b><c><bz>		信号灯とブザーを制御します。 点灯パターン 0: 消灯 1: 点灯 2: 点滅パターン 1 3: 点滅パターン 2 4: 点滅パターン 3 5: 点滅パターン 4 9: 変化なし ブザーパターン 0: 非吹鳴 1: 吹鳴パターン 1 2: 吹鳴パターン 2 3: 吹鳴パターン 3 4: 吹鳴パターン 4 5: 吹鳴パターン 5 9: 変化なし
output	<do1><do2>		デジタル出力を制御します。 0: OFF 1: ON 9: 制御しない
led	<r><y><g><b><c>		信号灯を制御します。 0: 消灯 1: 点灯 2: 点滅パターン 1 3: 点滅パターン 2 4: 点滅パターン 3 5: 点滅パターン 4 9: 変化なし
color	<color>		マルチカラーの色を制御します。 Red: 赤色 Amber: 黄色 Green: 緑色 Blue: 青色 White: 白色 Purple: 紫色 Cyan: 水色 NONE: 制御しない

単独でのみ使用可能

パラメータ	値	内容
c-pat	<c-pat>	マルチカラーの点灯パターンを制御します。 本パラメータは color の追加パラメータとして使用します。 1: 点灯 2: 点滅パターン 1 3: 点滅パターン 2 4: 点滅パターン 3 5: 点滅パターン 4
b-pat	<b-pat>	ブザーを制御します。 本パラメータは color の追加パラメータとして使用します。 0: 非吹鳴 1: 吹鳴パターン 1 2: 吹鳴パターン 2 3: 吹鳴パターン 3 4: 吹鳴パターン 4 5: 吹鳴パターン 5 9: 制御しない
sound	<ch>	音声再生を制御します。 1 ~ 71: 音声チャンネル
repeat	<repeat>	音声再生のリピート回数を指定します。 "sound" または "speech" の追加パラメータとして使用します。 0: ワンショット再生 1 ~ 254: リピート回数 255: エンドレス再生
restore	<restore>	制御時間 (秒) を指定します。 0: 制御時間を指定しない (省略できます) 1 ~ 99: 制御時間を指定
stop	1	本製品の設定に従って、以下の動作をおこないます。 ・音声再生を停止する (後入力優先再生モード) ・曲送りをする (メモリ再生モード)
clear	1	クリア動作を実行し、通常動作状態に戻します。
speech	<text>	入力した任意のテキスト内容で音声再生をおこないます。 最大 50 文字
lang	<lang>	音声再生時に使用する言語を選択します。 本パラメータは speech の追加パラメータとして使用します。 jp 日本語 en 英語
voice	<voice>	音声の言語を選択します。 本パラメータは speech の追加パラメータとして使用します。 male: 男性 female: 女性
speed	-5 ~ 5	音声再生の速度を指定します。 本パラメータは speech の追加パラメータとして使用します。
tone	-5 ~ 5	音声再生の声の高さを指定します。 本パラメータは speech の追加パラメータとして使用します。

＜組合せ可能なパターン＞

- ・alert&restore
- ・led&sound
- ・led&speech & (speechの通知パラメータ)

alertとのみ同時使用可能  
指定した時間動作を継続



## 【ゲート側 NB-D42MP】 接点入力設定

IOユニットからの接点入力ごとに、本体の接点出力とパトライトへの制御コマンドを選択します。

⑩「監視設定」>「接点入力設定」

>「状態変化検知設定を選択

① 接点入力ポートを選択

④ 信号定義 = “ON状態”

⑬ HTTPコマンド送信 = “有効”

⑭ HTTPコマンド送信設定 = 送信コマンドを選択

⑯⑰ 接点出力 1、2 = “ON”

※オン時間は別項目で設定

⑲最後に「設定」をクリック



## 【ゲート側 NB-D42MP】 接点入力設定

IFコンバーターからの接点出力のON時間を設定します。

①「本体操作設定」>「接点出力設定」を選択

① 接点出力ポートを選択

⑥ 自動OFF時間 = 接点ON時間 を選択  
0～600秒

⑦最後に「設定」をクリック

The screenshot shows the PATLITE web interface for the 'Interface Converter'. The left sidebar contains the following menu items: 本体設定, コマンド受信設定, 監視設定, 通知設定, クラウド設定, 本体操作設定, クラウド動作設定, 接点出力設定 (highlighted with a red box and circled 1), 接点出力操作, 自己監視設定, 音声登録, and 管理. The main content area is titled '接点出力設定' and contains the following settings:

- ① Port selection (ポート選択): 接点出力 1 (highlighted with a red box)
- ② SNMP通知: 無効 (radio button selected)
- ③ Terminal Output 1 (接点出力1): 接点出力 (radio button selected), 機能: デジタル出力 (dropdown menu)
- ④ Digital Output Setting (デジタル出力設定): ⑤ 監視値: A接点 (radio button selected), B接点 (radio button unselected); ⑥ 自動OFF: 0 (text input field), 秒 (unit)

The '設定' (Set) button is highlighted with a red box and circled 7 in the top right corner.



## 【ゲート側 NB-D42MP】 RSHコマンド受信設定



- ① 「コマンド受信設定」  
    > 「RSH/SSHコマンド受信設定」を選択
- ② RSHコマンド受信機能を「有効」にする
- ③ RSHコマンド受信設定の  
    送信元アドレス指定を「無効」にする
- ④ RSHコマンド受信時の共通ログイン名を入力  
    ※IFコンバータ側のRSHコマンド送信設定に  
    入力したものとあわせる
- ⑤ 最後に「設定」をクリック

## 8. パトライト

## 【NHVシリーズパトライト】 IPアドレスの設定

- ⑤ 「設定」を選択

The screenshot displays the 'Network Signal Tower' web interface. The top navigation bar includes the 'PATLITE' logo, device name 'Network Signal Tower', MAC address '80:39:e5:02:52:5c', and firmware version '1.10'. The left sidebar lists various settings, with 'ネットワーク設定' (Network Settings) highlighted and circled in orange, accompanied by a red circle with the number '1'. The main content area is divided into two sections: 'IPv4' and 'DNSサーバーアドレス'. The 'IPv4' section shows '設定方法' (Setting Method) with '手動設定' (Manual Setting) selected, and input fields for 'IPアドレス' (192.168.0.105), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), and 'デフォルトゲートウェイ' (empty). The 'DNSサーバーアドレス' section also shows '手動設定' selected, with input fields for 'DNSサーバーアドレス' (0.0.0.0) and two empty fields. A red circle with the number '2' is placed near the IPv4 settings. A large orange callout box with Japanese text points to the empty 'デフォルトゲートウェイ' field. The text reads: 'デフォルトゲートウェイのない環境で、RSHコマンドを使用する場合は登録なし(空欄)' (In an environment without a default gateway, when using the RSH command, no registration is required (empty)).



# 【NHVシリーズパトライト】各種機能の有効化

① 「本体設定」 > 「機能の有効化」 を選択

② 本体機能設定：  
・ RSHコマンド受信機能  
・ HTTPコマンド制御  
を“有効”にする

③ 本体制御設定：  
全項目を“有効”にする

④ 最後に「設定」を選択

**PATLITE** 機器名称 Network Signal Tower MAC アドレス 80:39:e5:02:52:5c Firmware Version 1.10

本体設定 > 機能の有効化

① 機能の有効化

② 本体機能設定

機能名	設定
SSHコマンド受信機能	無効 <input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
RSHコマンド受信機能	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
HTTPコマンド制御	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
ソケット通信設定	無効 <input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
変化情報送信	無効 <input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
LTE通信機能	無効 <input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>

③ 本体制御設定

機能名	設定
クリアボタン	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
テストボタン	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
音量 +/- ボタン	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
接点入力 ③	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
接点入力 2	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
接点入力 3	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
接点入力 4	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
接点出力 1	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>
接点出力 2	無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/>

④ キャンセル 設定

## 【NHVシリーズパトライト】送出する音声の登録



- ① 音声登録 > 「音声登録」を選択
- ② 登録するチャンネルを選択
- ③ 音声タイトルを入力
- ④ 送出するメッセージを入力
- ⑤ 言語、声（男性/女性）、トーン、速度を選択
- ⑥ 「視聴する」を押して音声を確認
- ⑦ 音声の前後に通知音（チャイムやブザー）を付加する場合は、付加する音を選択
- ⑧ 「チャンネルリストに追加」を押す
- ⑨ 最後に「設定」押す

**PATLITE** 機器名称 Network Signal Tower MAC アドレス 80:39:e5:02:52:5c Firmware Version 1.10

音声登録 > 音声登録

① 音声登録

② 登録チャンネル 1

③ 音声タイトル エリア1

使用領域 47KB / 40960KB (use 0.12%)

音声種別 ☒ 音声合成 ☐ MP3データ

音声合成

テキスト ④

エリア1が、高濃になっています。至急、確認してください。

入力文字数 28 / 400文字

言語 日本語

声 ⑤ 男性

トーン 0

速度 0

音声試聴 ⑥ 試聴する

通知音再生

通知音(前) ⑦ 未選択

通知音(後) 未選択

⑧ チャンネルリストに追加

チャンネルリスト

チャンネル CH 1 ~ CH 60

CH	タイトル	LineOut	再生	停止	削除
CH 1	エリア1	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	削除
CH 2		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-
CH 3		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-
CH 4		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-



## 【NHVシリーズパトライト】 RSHコマンド受信設定

① 「コマンド受信設定」 > 「RSH/SSHコマンド受信設定」 を選択

② RSHコマンド受信機能を「有効」にする

③ タイマーリストアを「個別」にする

④ RSHコマンド受信設定の  
送信元アドレス指定を「無効」にする

⑤ RSHコマンド受信時の共通ログイン名を入力  
※IFコンバータ側のRSHコマンド送信設定に  
入力したものとあわせる

⑥ 最後に「設定」をクリック

The background is a dark blue field filled with a repeating pattern of light blue geometric shapes, including squares, rectangles, and semi-circles. Some shapes are solid, while others are cut out or layered, creating a complex, pixelated effect. The shapes are scattered across the entire frame, with a white curved border at the bottom.

# Panasonic CONNECT

版	日付	変更内容
1.0版	2025.9.29	・初版 発行